

平成25年度 歳入歳出決算の状況

(金額の単位は円)

区分	歳入決算額	対前年度 伸率	歳出決算額	対前年度 伸率	歳入歳出 差引額
一般会計	38,932,357,164	▲0.2%	37,117,982,269	▲0.7%	1,814,374,895
特別会計	23,489,827,410	2.5%	22,839,848,001	3.4%	649,979,409
国民健康保険事業	13,583,510,196	3.7%	13,262,024,703	4.6%	321,485,493
下水道事業	2,973,482,544	▲11.1%	2,861,429,283	▲10.4%	112,053,261
介護保険事業	5,803,021,634	7.1%	5,599,522,546	8.2%	203,499,088
後期高齢者医療事業	1,129,813,036	7.0%	1,116,871,469	7.0%	12,941,567
合計	62,422,184,574	0.8%	59,957,830,270	0.8%	2,464,354,304

志政会

賛成

○一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。

▽25年度は、第四次総合計画の後期基本計画の初年度でした。激動する社会経済情勢

決算に対する討論

平成25年度決算は、起立多数をもって認定されましたが、5名の議員が各会派を代表して、同決算に対する賛成討論、反対討論を行いました。その概要は次のとおりです。



11月1日に開館となる市民活動センター（ビナスポ）

に適宜対応し、迅速な市民サービスの実現のため、10回にわたり補正予算が組まれ、各種事業が遂行され、スピーディーな対応がされたことは大いに評価できます。▽市民活動の拠点である市民活動センター（ビナスポ）の整備も進み、稼働率向上に向け、多くの市民が元気でいきいきと生活できるよう期待します。▽東日本大震災発災以降、継続的に取り組んでいる防災対策において、自助・共助・公助をバランスよく推進し、安全・安心なまちづくりの一層の充実を望みます。▽市債残高が増加し、基金は減少しましたが、市民1人

あたりの市債残高は県内最少が堅持されており、今後も引き続き税収増加や、経常経費抑制に取り組んでいただきたい。▽将来都市像「快適に暮らす魅力あふれるまち海老名」の実現に向け、先を見据えた各種施策を期待すると共に、25年度の評価と改善を27年度予算へと反映していただきたい。

市政改革の会

賛成

○一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。

▽当初予算では、過去最高の予算規模を掲げ、「元気な海老名を継続する予算」と位置づけられました。しかし、決算では過去最高の規模に至りませんでした。▽歳入では、当初予算対比で、市債や新まちづくり基金の取り崩し額の減少は評価します。また、市税収入増のうち、法人税増加が約半分を占めたことは、市内事業者にも回復の兆しが見えたといえます。▽歳出では、一般会計は当初予算対比で減少、特別会計は増加となりました。少子高齢化の中で、高齢者福祉に関する事業が増加したため、今後増加が見込まれます。引き続き最善の努力を望みます。▽新規事業では、全小中学校に温水洗浄便座の設置、いじめ対策で全センターに太陽光発電設備の設置など大いに評価します。▽海老名駅西口土地区画整備事業では、大幅な未執行額が生じましたが、計画に支障が出ないよう早期着手を期待します。▽市の財政指標は県内上位の数値ですが、それによる市民に対するメ

創新海クラブ

賛成

○一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。

▽市税全体では2年連続で増加した一方、根本的な税収増とはいえず、歳入全体では前年度より減少しました。税財源の安定収入は今後の大きな課題となります。▽中期財政ビジョンでは、25年度から29年度は積極的な投資を行い、将来の税収増を見込んだ戦略的な市債活用時期としています。ただし、新たなまちづくりによる実質的な税収増のタイミングは、29年度以降が想定されており、この間、計画的に対応いただくことを要望します。▽近隣市とは比較にならないハード・ソフトの教育環境の整備、子育て環境の充実が行われ、大変評価できます。▽経常経費に充てられた経常一般財源の割合を示す経常収支比率が20年度から上昇傾向にあるのは、市費単独で行っている先進的な市民サービスの各事業が経常経費に含まれていることも一因ですが、市の財政状況を踏まえた中で、今何が市民に求められているサービスなのか、「選択と集中」を再考し、27年度予算に反映していただくことを要望します。

